

※百分率は小数第二位で四捨五入するため、合計が100%にならない場合があります。



自転車の交通事故発生状況

令和8年1月末



1 自転車の交通事故発生状況

令和8年1月末現在の自転車事故（同乗者を含む自転車乗用者が死傷した交通事故）は、前年と比較して、発生件数及び負傷者数ともに増加しています。
また、死亡事故の発生はありません（前年比±0件±0人）。

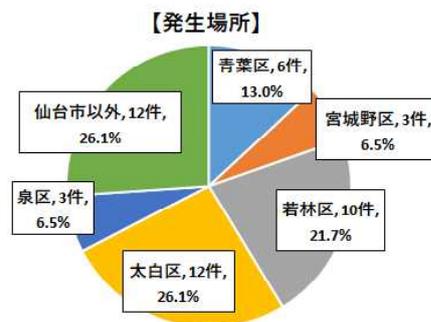
【自転車の交通事故発生状況】（令和8年1月末速報値）

区 分	発生件数	死亡事故		負傷者数		
		件 数	死者数	重傷	軽傷	計
本 年	46	0	0	8	40	48
前 年	40	0	0	7	35	42
増減数	6	0	0	1	5	6
増減率	15.0	-	-	14.3	14.3	14.3

2 仙台市内の自転車交通事故の発生状況

県内の自転車事故の7割以上(46件中34件、73.9%)が仙台市内で発生しており、内訳は、太白区が12件で最も多く、次いで若林区が10件、青葉区が6件、宮城野区と泉区がそれぞれ3件となっています。

また、仙台市内の自転車事故は、前年と比較すると、発生件数及び負傷者数ともに増加しており、死亡事故の発生はありません。



【仙台市内の自転車の交通事故発生状況】（令和8年1月末速報値）

区 分	発生件数	死亡事故		負傷者数		
		件 数	死者数	重傷	軽傷	計
本 年	34	0	0	8	27	35
前 年	31	0	0	4	29	33
増減数	3	0	0	4	-2	2
増減率	9.7	-	-	100.0	-6.9	6.1

3 自転車が第1当事者となった事故の発生状況（基礎データ令和3年～令和8年1月末速報値）

令和8年1月末現在の自転車が第1当事者となった人身交通事故は、7件（対歩行者4件。対自転車1件。対四輪車1件。単独1件）で、前年と比較すると5件増加しています。

また、死亡事故の発生はありません（死者：前年比±0人）。

区 分	自転車×歩行者			自転車×自転車			自転車×二・四輪車			自転車単独			計		
	件数	死者	負傷者	件数	死者	負傷者	件数	死者	負傷者	件数	死者	負傷者	件数	死者	負傷者
令和3年	14	0	14	8	0	10	0	0	0	0	0	0	22	0	24
令和4年	15	0	15	6	0	6	3	0	4	4	2	2	28	2	27
令和5年	20	0	21	8	0	8	6	1	5	3	1	2	37	2	36
令和6年	14	0	14	8	0	9	4	0	4	1	1	0	27	1	27
令和7年	23	0	23	7	0	7	4	0	4	1	1	0	35	1	34
令和8年1月末	4	0	4	1	0	1	1	0	1	1	0	1	7	0	7
令和7年1月末	1	0	1	0	0	0	1	0	1	0	0	0	2	0	2
前年比	3	0	3	1	0	1	0	0	0	1	0	1	5	0	5

※百分率は小数第二位で四捨五入するため、合計が100%にならない場合があります。

4 自転車事故の発生推移 (基礎データH28年～R7年)

令和7年中の発生件数は、ピーク時である平成16年(2,208件)の3割以下まで減少し、平成22年以降は、右肩下がり減少傾向となっています。

死者数は、平成24年以降は1桁(最高7人)で推移し減少傾向でしたが、令和6年は3年ぶりに増加に転じ、その後再び減少となりました。



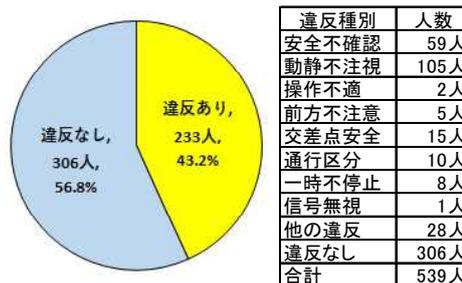
5 自転車事故の特徴等 (基礎データ令和7年中)

(1) 死傷者の4割以上に違反

自転車乗用中死傷者の4割以上(539人中233人、43.2%)に違反が認められました。

違反別では、動静不注視が最も多く、違反の4割以上(233人中105人、45.1%)を占めました。

【自転車死傷者の違反】

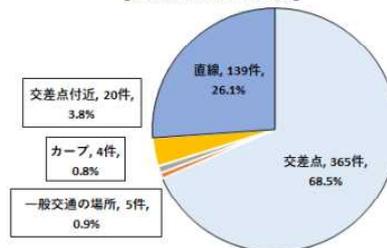


(2) 交差点での発生が多い

道路形状別では、約7割(533件中365件、68.5%)が交差点で発生し、全事故の構成率(3,730件中1,577件、42.3%)を26.2ポイント上回りました。

また、事故類型別では、出会い頭の事故が5割以上(533件中275件、51.6%)を占めており、全事故の構成率(3,730件中902件、24.2%)を27.4ポイント上回りました。

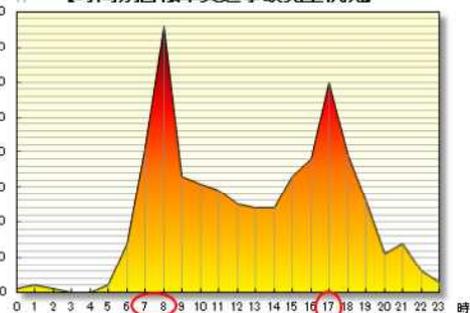
【道路形状別自転車事故】



(3) 朝夕の発生が多い

発生時間別では、8時台が76件と最も多く、時間帯では朝の通勤通学時間帯である7時台～8時台、及び夕方の17時台の発生が多くなりました。

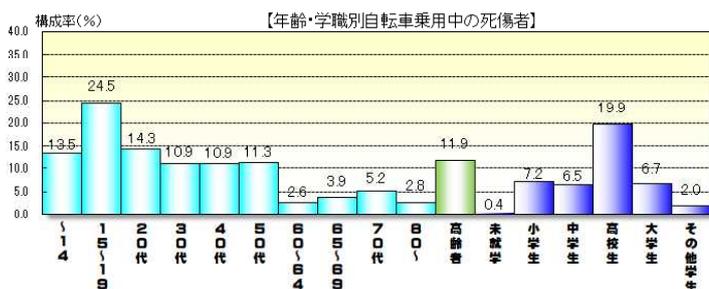
【時間別自転車交通事故発生状況】



(4) 高校生の事故が多い

年代別では、15～19歳の死傷者が132人(24.5%)と最も多く、学職別では高校生が107人(19.9%)と多くなりました。

また、高齢者は64人(11.9%)を占めました。



区分	計	年代別 I										年代別 II						学職別					
		～14	15～19	20代	30代	40代	50代	60～64	65～69	70代	80～	高齢者	未就学	小学生	中学生	高校生	大学生	その他学生					
死傷者数	539	73	132	77	59	59	61	14	21	28	15	64	2	39	35	107	36	11					
死者数	5	0	0	0	0	1	1	0	2	0	1	3	0	0	0	0	0	0					
負傷者数	534	73	132	77	59	58	60	14	19	28	14	61	2	39	35	107	36	11					

(5) ヘルメットの着用率が低い

自転車乗用中の死傷者539人のうち、ヘルメットを着用していたのは77人(14.3%)で、着用率が1割台となっています。

また、ヘルメット非着用者462人のうち69人(14.9%)は、ヘルメットを着用していれば負傷の程度を軽減できたと考えられます。

	死亡	重傷	軽傷	死傷者計
着用	1	10	66	77
非着用	4	72	386	462
うち効果あり	2	20	47	69